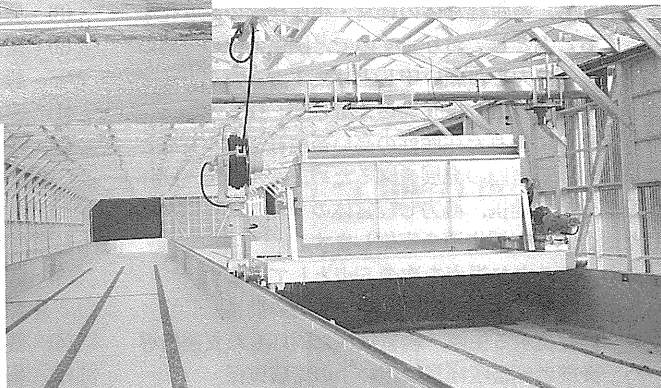
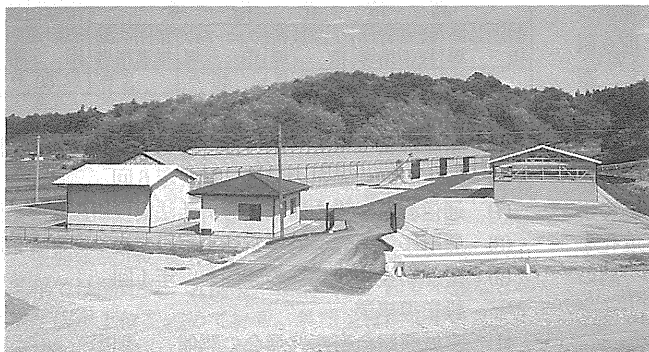


畜産みやぎ

発行所
仙台市青葉区上杉一丁目2番16号
法人 宮城県畜産会
電話 (262-9180)
編集発行人 茂木要治
定価 1部62円
印刷所 KK東北プリント



角田堆肥処理施設(平成5年度丸森・角田地区県営畜産経営環境整備事業)

も く じ

宮城県畜産会平成6年度事業計画の概要	2
平成5年度家畜共済事業実績について	3
宮城県環境保全型畜産確立対策基本方針の 制定について(その1)	6
平成6年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ	7
栗原地域の畜産振興を目指して	8
第12回和牛産肉能力間接検定成績	9
成牛のサルモネラ症	10
反省と勉強の毎日	10

宮城県畜産会平成6年度事業計画の概要

(社)宮城県畜産会

平成6年度本会事業についてましては去る6月30日開催した第39回定時総会において承認されましたのでその概要を紹介します。

本年度事業は、畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を広範かつ早急に育成するため、経営体自らが経営改善に取り組む意欲、努力に対する支援指導を総合的に実施し、畜産経営の安定合理化に資することとしております。

特に旧事業の新規組替えにより畜産経営技術高度化支援指導事業として充実強化されたことにより、関係機関との更なる連携を強め、より効果的・効率的に事業を展開し、畜産経営体の経営・生産技術の高度化を助長することとしておりますので、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1. 畜産経営技術高度化支援指導事業

経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成と地域における畜産の発展を図るため、関係機関、団体が役割分担と連携、協力し経営体のレベル、実態に応じた総合的な支援指導を実施します。

なお、その主な視点を次の5点としています。

- イ 畜産経営体自らの経営改善努力の助長
- ロ 高度化する生産・経営技術に対応した支援指導
- ハ 後継者等畜産経営の担い手の育成確保
- ニ 効果的、効率的な支援指導の実施
- ホ 支援指導体制の充実強化。

(1) 畜産経営技術指導研究会の開催

- ① 総合委員会 年2回
- ② 専門委員会 年6回(畜種毎各2回)

(2) 地域畜産経営体相談窓口指導

日常的な経営体の状況把握、指導、地域における関係機関、団体との連携、協力、調整及び定時的巡

回指導、診断指導の要請等の任に当たるため専従職員2名を仙南、仙北に各1名配置します。

(3) 畜産経営技術高度化指導

※ 診断指導実施件数

高度化指導					指導相談
個別診断指導	経営管理技術指導	生産技術指導	フォローアップ指導	集団活動推進指導	窓口巡回指導
60戸	20戸	60戸	40戸	3件	80戸

- (4) 優良畜産経営技術交流会の開催
- (5) 畜産経営セミナーの開催 肉用牛、養豚各1回
- (6) 特定課題相談日の開催 年6回
- (7) 通信教育、集中研修、分析手法実技研修各2回
- (8) 農家子弟等先進的経営体視察研修会 年1回
- (9) 畜産新技術研修会の開催 年1回

2. 一般指導事業

- (1) 宮城県総合畜産共進会の開催 別掲
- (2) 畜産経営体質強化特別指導事業
 - ① 先進的経営体調査、14事例(酪農3、肉用牛8、養豚3)
 - ② 肉用牛経営者会議の開催 年2回
- (3) 肉用牛生産経営技術改善事業(調査頭数 繁殖牛4,000頭、肥育牛1,500頭)
- (4) 養豚需給調整安定対策事業
- (5) 畜産機械施設貸付調査指導事業(40件)
- (6) 畜産経営簡易診断指導事業(85事例)
- (7) 地域畜産活性化対策指導事業(11市町)
- (8) 畜特、肉牛合理化資金借入農家診断指導(99戸)
- (9) 畜産団体調整機能強化事業
- (10) 特定肉用牛生産流通実態調査
- (11) 畜産経営技術情報収集事業(モニター45名)
- (12) 畜産技術普及広報活動

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 全農 経済連

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

平成5年度 家畜共済事業実績について

NOSA I 宮城

平成5年度の家畜共済引受並びに事故実績がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。
引受(表1)

頭数では、合計で16万825頭となり、前年度より、5,852頭減少した。畜種別でみると特定肉用牛等、豚で、畜産農家の廃業、飼養頭数の減少等により、それぞれ2,281頭、4,482頭減少した。

また、共済金額は合計で303億2,807万円となり、前年度対比で10億5,587万円減少した。

事故(表2)(表3)

死傷事故は大家畜での多発傾向が続いており、牛馬合計では178頭増加した。

主要疾病別の発生状況は別表3のとおりであるが、乳牛では関節炎、乳房炎、産前(後)起立不能などの生産病が上位を占めている。乳房炎は前年度と比較して10%近く減少しており、冷夏の影響もあるが平成5年度から家畜事故対策事業のひとつとして実施する「さく乳立会」の成果もその一員として考えられる。また産前(後)起立不能、第四胃変位は前年度より、大きく増えているが、天候不順で粗飼料の品質が低下し、さらに濃厚飼料多給等により、増えたと思われる。

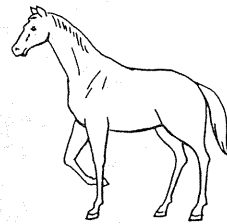
肥育牛については1位の腸間膜脂肪壊死症から5位の第四位変位までは、55%を占めるが、前年度対比ではいずれも前年度を大きく上まわっている。腸間膜脂肪壊死症については高品質肉の生産重視傾向の影響で毎年増えつづけている。また鼓脹症は粗飼料としてのワラの確保が不十分だったのと、その品質が著しく低下したことも一員と考えられる。

病傷事故は肥育牛を除き減少し、合計では2,957件減少したが、支払共済金は、診療点数の引上げにより、1件平均の治療費が上昇した結果、2,300万円程増加し、8億5,110万円の支払となり、前年を上回った。

合計の支払い共済金は19億2,237万円となり、前年度対比では4,050万円増加した。

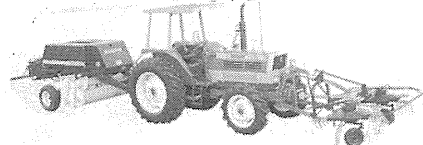
依然として事故の多発傾向が続いていますが、本会では家畜事故対策協議会を中心に、家畜診療センター、家畜診療研修所並びに関係機関、団体等との連携強化を図り、事故防止を図って行く所存でございますので、今後とも関係各位の御協力をよろしくお願いいたします。
家畜課 菊地

畜産振興の明日を 担う地方競馬



地方競馬全国協会

WORLD 50 年



株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)



クスリの総合卸

株式会社 エーシン

取締役社長 山田 修造

本社(畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 FAX(022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

表1 平成5年度家畜共済引受状況

Table with columns for Item, Target, Heisei 5, Heisei 4, and Increase/Decrease. Rows include Dairy Cows, Fattening Cows, Specific Meat Cattle, etc.

*特定肉用牛等には、肉用種種雄牛を含む

表2 平成5年度家畜共済事故実績表

Table with columns for Species, Year, Deaths, Accidents, and Injuries. Rows include Dairy Cows, Fattening Cows, Specific Meat Cattle, etc.

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地 TEL 0198 204151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1 TEL 0229-26-4567

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所
酒田営業所 福島営業所

STAR スター農業機械

マニュアルスプレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800 (倍角ステアリングボディ) (ディスクビータ)

STAR-農機株式会社 仙台営業所

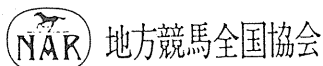
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

表3 平成5年度家畜共済死廃事故主要疾病別発生状況(3月末現在)

乳牛の雌														肥育牛														
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~	合	前年対比	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~	合	前年対比		
旧診療所	病名	関節炎	乳房炎	起立不能(産前(後)不能)	第四胃変位	骨折・脱臼	腰痠	心臓衰弱	敗血症	臍子脱	鼓膜症	その他	計	前年対比	壊腸間膜脂肪症	鼓膜症	肺炎	心臓衰弱症	第四胃変位	尿石症	関節炎	腰痠	胃腸カタル	前胃弛緩症	その他	計	前年対比	
白石	石	83	59	54	57	50	9	16	17	4	6	79	434	0	2	33	33	13	9	4	5	3	4	13	44	163	▲15	
白角	田	34	25	22	41	13	8	14	7	4	2	25	195	30	4	10	15	2	0	5	1	2	2	1	6	48	12	
名取	大	67	52	45	26	14	7	6	4	5	4	49	279	10	6	9	5	7	9	4	6	3	4	2	17	72	5	
大	衡	8	8	11	2	5	2	1	1	1	2	7	48	▲14	7	8	6	8	5	6	5	6	3	1	19	74	▲16	
古川	1	58	44	43	34	26	21	16	8	11	2	45	308	11	8	11	10	15	1	3	2	0	0	1	7	58	▲11	
古川	2	68	42	49	57	27	33	25	14	14	10	87	426	50	50	18	19	17	7	9	10	7	8	5	47	197	▲43	
築	館	39	13	38	24	9	17	11	5	4	3	42	205	▲5	5	7	3	15	3	5	2	10	10	2	17	79	▲7	
追	館	43	35	31	26	16	19	18	12	10	4	48	262	▲1	51	25	29	37	34	12	10	9	3	6	83	299	▲43	
本	吉	13	2	7	10	5	1	2	0	2	1	7	50	▲17	0	1	1	1	2	1	1	1	0	0	3	11	▲1	
石	巻	45	40	17	35	14	18	13	0	5	12	53	252	24	23	31	23	22	12	23	15	12	18	10	26	215	▲30	
計		458	320	317	312	178	135	122	68	60	46	442	2,459	88	156	153	144	137	82	72	57	53	52	41	269	1,216	83	
前年度		453	354	252	255	175	146	124	58	54	36	464	2,371		125	119	120	121	56	84	65	72	49	48	274	1,133		
増減		5	▲34	65	57	4	▲11	▲2	10	6	10	▲22	88		31	34	24	16	▲26	▲12	▲8	▲19	3	▲7	▲5	83		

特定肉用牛等														種豚															
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~	合	前年対比	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~	合	前年対比			
旧診療所	病名	胎児死	心臓衰弱	新生児死	胃腸カタル	胃腸炎	白痢	肺炎	脂腸間膜死	鼓膜症	脱臼折	腰痠	その他	計	前年対比	腰痠	心臓衰弱	関節炎	臍子脱	脱臼折	直腸脱	肺炎	難産	ツム感症	子メケリ	敗血症	その他	計	前年対比
白石	石	13	11	10	9	8	10	4	6	6	2	13	92	▲25	2	1	1	3	1	1	0	0	0	1	2	12	▲5		
白角	田	7	12	12	5	5	1	1	0	2	2	14	61	13	7	14	2	2	0	0	1	1	1	4	8	40	5		
名取	大	13	6	11	3	0	1	7	1	2	3	8	55	▲2	11	11	9	1	1	1	0	0	0	2	6	42	▲2		
大	衡	6	7	3	4	1	0	5	2	0	0	8	36	▲21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0		
古川	1	59	24	31	21	18	10	12	3	9	3	32	222	4	5	2	4	3	2	3	0	1	0	0	2	22	▲20		
古川	2	112	72	80	50	44	33	18	9	13	8	93	532	34	30	21	21	12	10	7	6	3	3	1	24	138	9		
築	館	94	60	69	37	20	7	7	10	8	17	66	395	▲14	18	14	7	4	3	2	0	3	0	1	8	60	▲18		
追	館	111	107	73	33	21	37	38	16	7	15	95	553	13	19	13	15	6	2	3	5	3	7	1	7	81	▲6		
本	吉	20	12	9	5	1	0	4	2	3	1	8	65	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
石	巻	32	37	18	36	6	18	4	10	4	3	15	183	7	3	7	4	7	6	4	1	1	0	1	3	37	11		
計		467	348	316	203	124	117	100	59	54	54	352	2,194	10	95	83	63	39	25	21	13	12	11	11	61	434	▲26		
前年度		467	316	319	205	118	104	116	59	59	58	363	2,184		94	87	51	36	43	16	7	18	19	14	85	460			
増減		0	▲32	▲3	▲2	6	13	▲16	0	▲5	▲4	▲11	10		1	▲4	12	3	▲18	5	6	▲6	2	▲3	▲24	▲26			

いろいろあるから人生だと
教えてくれる場所がある！



ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
宮城営業所 古川市新田字泉屋敷59-4 ☎989-61
TEL (0229)26-4330

動物用医薬品

**セレン配合
総合ミネラル固型塩**

金塩セレン

日本全薬工業株式会社

宮城県環境保全型畜産確立基本方針の制定について(その1)

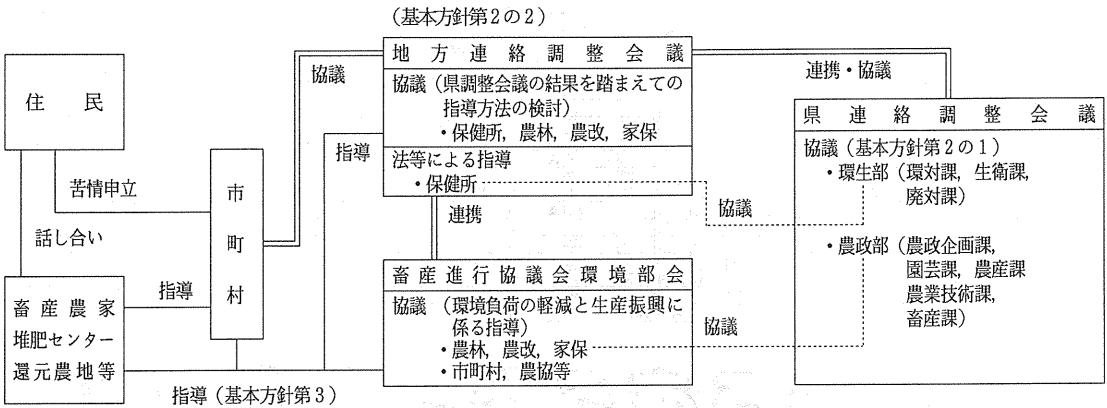
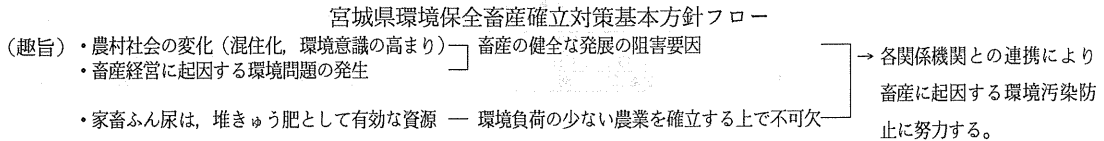
宮城県畜産課

農村社会の混住化、畜産経営の多頭化が進む中で、環境問題が重要かつ緊要の問題となっており「地球にやさしい環境づくり」が社会的要請となっております。このため、環境負荷を最小限に抑える農業(畜産)生産を目指し、宮城県では畜産にかかる環境対策を積極的に推進するため「宮城県環境保全型畜産確立対策基

本方針」を制定しました。

以下、その概要をお知らせします。

本基本方針の県、地方機関及び市町村との連携については図-1に示しております。



宮城県環境保全型畜産確立対策基本方針
平成6年3月25日制定

第1 趣旨

本県の畜産は、食生活の多様化等を背景とする畜産物需要の伸び等に支えられ、農業粗生産額の3割を占めるまでに発展し、本県農業の基幹的作目となっている。

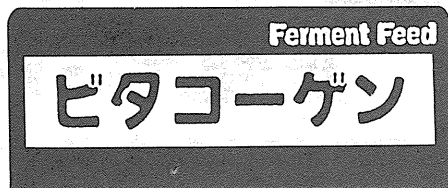
しかしながら、近年、農村社会の混住化や畜産の規

模拡大の進展等を背景に、一部の地域においては、畜産経営に起因する環境汚染がみられ、今後における畜産の健全な発展の阻害要因となってきている。

一方、家畜ふん尿は適切な処理を行えば堆きゅう肥として利用することが可能で、資源の有効活用の観点から重要であり、また、適切な農地還元を促進することは、環境負荷の少ない環境保全農業を確立する上で不可欠である。

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収 糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



ご用命は 酪農組合、農業協同組合 又は畜連支所まで

製造元 清和酵源株式会社
 発売元 株式会社 セイワ
 [本社：三重県鈴鹿市]

畜産経営によって生じた家畜ふん尿は、畜産農家等が自らの責任において適切に処理しなければならないことから、家畜ふん尿処理技術等に関する情報提供等必要な指導を行い畜産経営に起因する環境汚染の防止に努める必要がある。

このため、県及び市町村は、関係機関との連携を強化し、環境保全型畜産確立対策を総合的に推進するための体制を整備するものとする。

第2 畜産経営の環境保全対策に係る指導体制

1 県における指導体制

畜産経営の環境保全対策を適切に推進するため、環境生活部、農政部の関係各課で構成する宮城県畜産環境保全連絡調整会議（以下「県調整会議」という。）において次に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 畜産経営の環境保全のための指導方針に関すること。
- (2) 家畜ふん尿の処理技術、農地還元に関すること。
- (3) 畜産に関する公害等の苦情の発生や処理に関すること。
- (4) 畜産経営の環境保全推進のための情報交換に関すること。
- (5) 畜舎周辺の環境整備及び円滑な経営移転に関すること。
- (6) その他必要なこと。 (その1おわり)

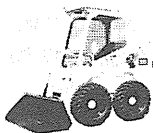
平成6年度宮城県総合畜産共進会
開催のお知らせ

宮城県畜産会

平成6年度宮城県総合畜産共進会は、下記のとおり多彩に開催することになりましたので多数ご参観くださいますようご案内申し上げます。

- 1 肉豚の部
 - 開催日 平成6年8月31日(水)～9月2日(金)
 - 場所 宮城県食肉流通公社(米山町)
- 2 肉用牛・乳牛の部
 - 開催日 平成6年9月19日(月)～21日(水)
 - 場所 小牛田家畜市場
- 3 出品頭数
 - ・肉豚の部 180セット(同腹去勢2頭, 雌1頭計3頭を1セット)
 - ・肉用牛の部 73頭, 16組(60頭)計133頭
 - ・乳用牛の部 60頭
- 4 付帯行事
 - ・肉豚の部
肉質改善相談コーナー
養豚研修会
 - ・肉用牛・乳用牛の部
県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会
和牛婦人部審査コンクール
ジャッジングコンテスト
ミヤギノホーク展示即売
高級仙台牛展示即売 ・焼肉コーナー
牛乳・乳製品展示即売
地場産品展示即売
家畜改良・家畜衛生相談

TCM東洋フォークリフト



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

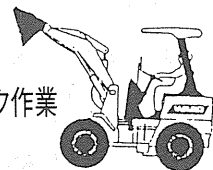
TCM東洋運搬機株式会社

東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441(番代)

<地域の目>

栗原地域の畜産振興を目指して

宮城県築館家畜保健衛生所

栗原地域は、県の北西内陸部に位置し、地勢は、北西部の栗駒山を主峰とする奥羽山脈から連なる丘陵地帯が、東部に向かって傾斜し、丘陵地帯を塗って流れる迫川に添って肥沃が耕土が拓け、本県の主要な穀倉地帯を形成しています。

農業は、水稻を基幹作物とし、畜産、蔬菜・園芸等多彩な農業を展開しております。なかでも、畜産は、自然の豊かさに生まれ発展し、農業粗生産額およそ35%を占め、肉用牛の生産にあつては県内でも高水準にあり、基幹種雄牛「秋重号」(栗駒町産)、「茂勝号」(一迫町産)の生誕の地でもあります。

さて、農業・農村を取り巻く内外の情勢は、担い手の減少・高齢化、産地間競争の激化、農産物需給の不均衡、輸入農産物の増加等が進む中で、GATT・ウルグアイ・ラウンド農業交渉合意による米のミニマム・アクセス及び乳製品等農産物関税化の受け入れが決定し、国際化への新たな対応が求められています。また、国においては、「新しい食料・農業・農村政策の方向」の本格的な推進を図るため諸施策が推進されています。このような中で、本地域では稲作に特化した生産構造から均衡のとれた構造に誘導するため、複合経営を推進しております。特に、畜産においては、長年培われた技術を生かし、耕種農家との有機的な結合により、大自然と調和のとれた「地球環境にやさしい畜産」を推進していきたいと考えております。

本地域では、昭和63年から6ヶ年、20億円を費やし公社営畜産基地建設事業を実施し、生産基盤の充実、生産の合理化を図り、生産及び流通単位として一定の規模を確保することにより、新たな畜産主産地としての体制づくりを積極的に推進してきました。

さらに、次の段階として、平成6年度から、畜産経営環境整備基礎調査事業を伊豆沼・内沼周辺5町(築

館町、若柳町、高清水町、瀬峰町、志波姫町)で実施し、地域現況調査に基づき、畜産農家の経営改善計画、家畜排泄物処理計画、基盤整備計画等を内容とする基本計画を作成し、調査地域における畜産経営環境整備の各種施策の基本的な指針を明らかにして、地域社会との調和のとれた畜産経営の健全かつ安定的な発展を目指していきます。

また、地域の畜産農家の生産コストの低減、飼養規模の拡大等に重要な役割を果たしている公共牧場については、その機能の強化と併せて、その有する緑資源を地域住民へ提供し、地域の活性化を図るため、公共牧場機能強化事業を平成5年度から栗駒町営深山牧場で実施しています。二迫川上流の荒砥沢ダム(ロックヒルダム)から深山牧場への道路(農山村交流の道)も完成し、交通の便も非常によくになり、栗駒の自然を堪能できます。そして、牧場からは栗駒山を一望にでき、その眺めは、四季を通じて表情を変え圧巻です。

世の中の価値観が多様化している中、農業がとるべき道はいろいろあると思いますが、農地を、そして国土を守り、維持し、次のゼネレーションに引き継いでいくことが我々の義務であると考えます。より良い環境と、農地の有効利用を、みんなで考え、みんなで創造していくことが、我々に課された使命でもあります。

将来とも、国際化の進展、産地間競争の激化が予想される現今、耕種農家と畜産農家の皆さんの有機的な結びつきを輪(和)として、大きな力とし、くりはらの大自然と調和のとれた“畜産王国くりはら”に大きく進展することを心から期待いたします。

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116

動物用 (牛専用)
医薬品

トルラミック

特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

<畜試便り>

第12回和牛産肉能力間接検定成績

宮城県畜産試験場

宮城県では昭和55年から和牛産肉能力間接検定が実施され、今回第12回の検定が終了しました。本検定を通じてこれまでに第2波茂、奥茂などの特色のある優れた種雄牛が選抜されてきており、これらは基幹種雄牛として畜産試験場において繁養され、本県の肉用牛改良の主役を担っています。

この検定は直接検定（本牛の育成時期の発育と飼料利用性の検定）で選抜された種雄牛候補牛を父に持つ去勢子牛を宮城県岩出山牧場で364日間肥育し、肉量、肉質、増体、飼料利用性を調査して遺伝的産肉能力を検定するものです。今回検定した種雄牛は表1に示す茂重岩、滝波、金宗、隆宗の4頭です。

表1 検定種雄牛の概要

種雄牛名号	生年月日	年血統父	年血統母方祖父	産地	直検DG
茂重岩	元.6.30	茂重波	茂重波	岩出山町	1.50
滝波	元.10.18	宮滝	茂重波	栗駒町	1.25
金宗	元.12.24	波宗	安美金	南郷町	1.25
隆宗	2.4.17	波宗	茂重波	登米町	1.23

表2に検定結果の概要と平成4年度終了の全国で実施された76セットの検定結果の平均値を示しました。全国平均と第12回の検定成績を比較しますと、本県の成績は、発育の良否を示す項目では下回るものの、肉質の項目では全国平均を上回っています。

次に個々の検定種雄牛の特徴を検定成績と血統からまとめてみます。茂重岩は父、母の父共に茂重波であり、脂肪交雑に優れた資質を受け継ぐことの期待される血統ですが、BMS2.1と期待はずれの成績でした。滝波は宮滝の息牛であり発育の良さが求められました

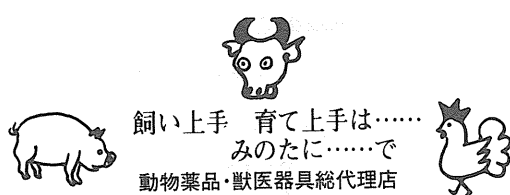
表2 第10回和牛産肉能力間接検定成績

種雄牛名号	頭数	終了体重kg	DGkg	ロース面積cm ²	推定歩留%	脂肪交雑BMS	筋間脂肪cm	皮下脂肪cm
茂重岩	10	556	0.82	46	73.9	2.1	5.5	1.7
滝波	10	569	0.83	50	74.3	2.1	5.3	1.7
金宗	10	556	0.83	44	73.8	3.0	6.1	1.6
隆宗	9	574	0.80	46	74.1	2.5	5.3	1.4
全国 ¹⁾	648	580	0.88	45	73.2	2.1	5.5	2.0

1) 全国平成4年度終了76セット平均値

が、ロース面積が大きい割にDGが低く、BMSも不十分でした。金宗、隆宗は父がともに波宗ですがBMS、DGで金宗が3.0、0.83と優れた成績を残しました。隆宗は皮下脂肪、筋間脂肪の薄さに特徴があり、各形質にバランスのとれた成績でしたが、BMSにもつたりなさを感じられました。今回の成績とこれまでに宮城県で実施してきた間接検定の成績を用いて、3形質のBLUP法でDG、ロース面積、BMSの育種価を求めたところ、金宗のBMSと滝波のロース面積で改良の効果が期待できる結果が得られました。

このような結果から、平成6年6月に開催された宮城県和牛改良小委員会では今回の検定済み種雄牛として金宗を選定しました。ロース面積が細くなることが予想されますが、肉質の優れた種雄牛としての活躍が期待されます。



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL0983121
仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL0954306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL0240963

ビフィズス菌は

ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。

活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス®

ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
☎ (022) 384-5181

<衛生便り>

「成牛のサルモネラ症」

仙台家畜保健衛生所

サルモネラ症は、サルモネラ属菌の感染によって起こる人畜共通感染症の一つで、家畜・家禽に廃血症、下痢、肺炎あるいは流産を起こします。また、サルモネラに汚染された乳、肉、卵等の食品が人に食中毒を起こします。

ここでは、最近問題になっている成牛のサルモネラ症について簡単に述べたいと思います。

従来、牛のサルモネラ症は子牛に感受性が高く、成牛での発生は非常に希なものでした。しかし、近年、搾乳牛でのサルモネラ症が全国的に増加しています。

その原因としては、飼育環境や搾乳牛そのもののサルモネラ汚染濃度が上昇したとの考え方が一般的です。

サルモネラに感染した成牛は、食欲不振、40℃以上の発熱、乳量の減少、泥状下痢、偽膜性粘血便を排泄し、時には死に至ることもあります。死に至るまでの背景には、成牛はサルモネラに対して抵抗性があり、めったに発病しないという固定観念が農家や獣医師にあったためと思われます。まず、第一に農家の発見、獣医師への連絡の遅れ、そして適切な抗生剤選択の遅れです。困ったことに、流行しているサルモネラ菌は、一般に常用されている抗生剤が効かない多剤耐性菌が多いのです。また、症状が回復しても糞便中にサルモネラ菌を排泄して環境を汚染し、新たな感染源となる可能性があります。

防疫対策としては、第一にサルモネラ菌に汚染されていない牛を導入することが大切です。しかし、現在の広域流通の中では実際、困難と言えます。農家での防衛策としては、踏込消毒槽の設置やウォーターカップ、牛床などの清掃消毒の励行が望まれます。

しかし、なんと言っても、早期発見、早期治療、早期消毒が被害軽減の要です。おかしいと思ったら掛り付けの獣医師、または家畜保健衛生所まで一報を！

(仙台家畜保健衛生所 病生鑑定課 斎藤 裕)

実践大学在校生及びOBの抱負

「反省と勉強の毎日」

古川市出身 佐々木 紀 夫

(平成4年3月卒業)



現在、私はJ.A古川市畜産課畜産係として日々頑張っている。

卒業後、すぐに畜産係に配属され、繁殖牛係の業務

に加えて、大学時代取得した人工授精師の資格をかわれ年間2,000頭を越える牛の人工授精を担当した。はじめはなかなか思ったとおりに成果が上がらず、悪戦苦闘したが、先輩から様々な指導を受け、成績も向上し、1人前になってきたと思う。

本農協は、受精卵移植にも力を入れており、優秀な受精卵移植師の先輩職員の技術を直接見ることができ、自分にとって良い勉強になり、たいへん幸せに思う。

3年目の今年から、肥育牛担当となった。農協全体で、出荷販売は年間約1千頭を越えており、毎月75頭以上を導入し、毎週仙台市場に指定出荷しており、なかなかすごいと思う。

頭数もすごいですが、出荷して成績が思うように伴わないときは、生産者、職員一同悔しさのあまり、明け方までの酒飲み反省会もものすごくなる。飼養農家同士でお互いに寸評し、出荷成績を検討しながらの反省と勉強が、今後の向上へと結びついていると思う。

私は実践大学を卒業したが、各関係機関の方々とも面識が多く、先輩後輩にも実際に畜産関係にタッチしている関係者が多いので、本当に良かったと思う。

これからの畜産は、やり方次第で楽しくも苦しくもあると思う。目先の物事にとらわれたり、一方的に見ないようにしながら、もっともっと勉強し、本農協の畜産経営や技術指導に頑張っていきたいと思う。

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7698

動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タック

- 本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
- 仙台(営) 電話 022-225-7338(代)
- 古川(営) 〒987 遠田郡小牛田町関根字館野28番
- 電話 0229-34-2018(代)
- 福島(営) 〒960 福島市矢剣町22番5号
- 電話 0245-36-2815(代)
- 須賀川(営) 〒962 須賀川市卸町3番
- 電話 0248-76-5177(代)